

**長野県在宅福祉機器協議会会長賞**  
**【山崎 隆道】**岡学園トータルデザインアカデミー  
 「食事介助用のエプロンデザイン」

審査員コメント

介護が必要になっても、食事の時はおしゃれして楽しみたい。人として当たり前の感覚を学生の提案から気付かされました。素材や機能など実用化にはまだハードルもありますが、施設の食事風景を変えていきましょう！



エントリー NO.14

食事介助用のエプロンデザイン

岡学園トータルデザインアカデミー 山崎隆道

★提案効果

◎エプロンをつけるだけでいつもと違う感覚を感じてもらいたい

→**食事が楽しいイベント**になるような

たくさん食べて貰える→使用して貰える方の健康につながる

◎機能面だけのエプロンではなく汚したくないと思えるエプロンの提案

→できる限りがんばって食事を自分の力で楽しんでもらえる

→施設側のエプロン片付けが少しでも負担が減るように

★デザイン提案 男性



↑白のタキシード



↑黒のスーツ↑

★デザイン提案 男性



襟付きのデザインの場合は  
実際に襟をエプロンにつける

↓  
よりリアルな洋服感

襟付きシャツデザイン

襟がついている事で食事をきちんとする感覚

飾りボタンデザイン  
実際にボタンをエプロンにつける

↓  
よりリアルな洋服感

★デザイン提案 女性



↑お着物↑

季節によって袴物や浴衣などチェンジも楽しめる

★デザイン提案

無地などのただ服が汚れない為につけるエプロンではなく

スーツやお着物などの特別感のあるデザインのエプロンを着用

↓  
食事の時間を会食のような1つのイベントに  
季節のイベントごとにデザインパリエーションチェンジもできる

会話が增え、つけている服を気にするようになって  
食べこぼしや汚しを少なくしたいという気持ちの意識向上になって貰いたい

